

平成 30 年度 校内研究のまとめ

市立札幌豊明高等支援学校
研究部

1. 本年度の重点

本年度は、昨年度から引き続いて教科部会に分かれ、平成 31 年度からの指導計画 年間計画一覧（シラバス）案の検討・改訂を進めてきた。

「新しい時代に必要となる資質・能力の育成」するための 3 つの視点（新学習指導要領より）。

- ① 内容「何を学ぶか」 ～新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の再編や目標・内容の見直し～
- ② 方法「どのように学ぶか」～主体的・対話的で深い学びの視点からの
学習過程の改善～
- ③ 能力「何ができるようになるのか」
～社会と連携・協同しながら、未来の作り手となるために必要な
資質・能力を育む社会に開かれた教育課程の実現～

2. 本年度の研究のまとめ

- ① 本年度は、「どのように学ぶか」という視点で、新学習指導要領の方向性や重点の確認を全体研修で行い、教科部会での授業研究に取り組んだ。
- ② 「どのように学ぶか」という視点については、まずは新学習指導要領について理解を深めることを目的に、6 月に WG による研修、11 月には北原指導主事を招いて研修を行った。
また、各教科部会では「主体的・対話的で深い学び」という視点を踏まえ、授業研究を行った。各教科で研究授業を行い、1 年「職業」と 2 年「保健体育」については校内公開授業を行い、教科内での研修を深めた。各教科部会で指導案を作成して授業を行い、成果と課題について話し合いを行った。
公開授業を行った 2 教科については、11 月の「校内研究のまとめ」で発表を行い、その他の教科も授業研究の成果と課題についてプリントにまとめたものを全体に配布し、内容の共有を図った。

3. 次年度校内研究の方向性

- ① 次年度は、当初の予定では 3 年計画の 3 年目にあたる。今年度同様、教務部と連携して校内授業研究日を設定し、授業研究を引き続き行う。（次年度以降も、順次各教科部会で授業公開を行っていく。）
- ② 昨年度・今年度と見直しを行ってきた指導計画・年間指導計画と、新学習指導要領に関する研究をもとに、教科部会で「教育課程基底編」「指導計画編」の改訂を進める。
3 カ年研究の 1 年次（昨年度）・2 年次（今年度）で見直した教科・科目等の目標や指導計画、年間指導計画一覧に基づき、3 年次（次年度）は「教育課程基底編」の改訂を完了させる。「指導計画編」についても、同様に進めていく。研究部は研究の進行管理と、研究成果のとりまとめを引き続き行う。（今年度当初の計画）

以上のような形で、次年度(2019年)度は、教科部会での授業研究を継続しながら、特別支援学校高等部学習指導要領を踏まえ、教育課程基底編・指導計画編の更新を行う。

＜次年度(2019年度)「基底編」見直し完了、2020年度「指導計画編」見直し完了＞
 →よって、当初3カ年計画だった「教育課程基底編」「指導計画編」の見直し完了の計画を2020年度までの4カ年でを行う計画に変更する。

研究スケジュール

共通理解

授業研究

基底編・指導計画編

発表

今後の学習指導要領改訂スケジュール (現時点の進捗を元にしたイメージ)

平成28年8月26日
 中央教育審議会
 教育課程部会
 資料3

